

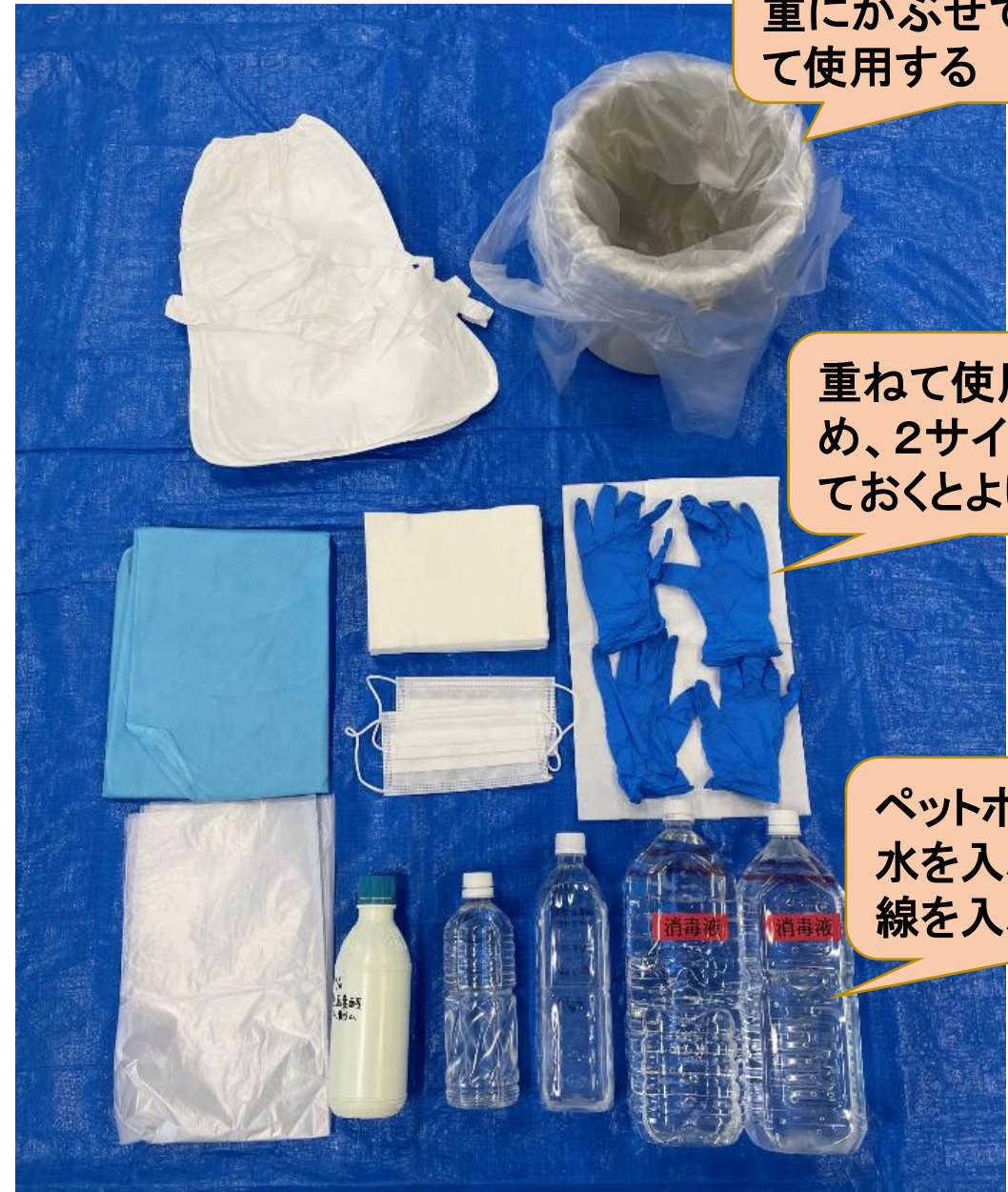
令和6年度 県北健康福祉センター感染症研修会

嘔吐物処理について

令和6(2024)年10月3日、11日
栃木県県北健康福祉センター
健康対策課感染症予防

準備する物

- 使い捨て手袋(2組)
- サージカルマスク
- 使い捨てエプロン
- シューズカバー
- 次亜塩素酸ナトリウム原液
- ペーパータオル(もしくは新聞紙)
- ペットボトル
- ビニール袋(2枚)
- バケツ



バケツはビニール袋を二重にかぶせてゴミ箱として使用する

重ねて使用するため、2サイズ用意しておくとい

ペットボトルには、水を入れる位置に線を入れておく

消毒液の作り方(次亜塩素酸ナトリウム)

○原液濃度が約6%の場合

0.1% 次亜塩素酸Naを作る

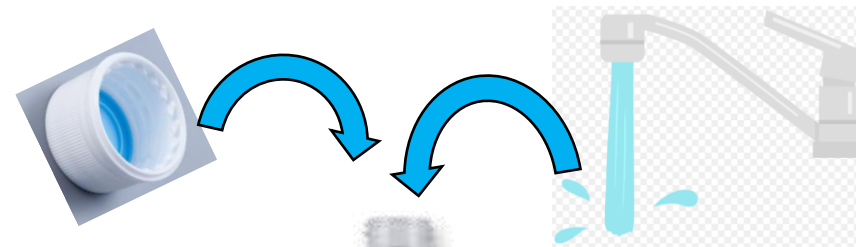
できあがる量	消毒液原液	水	用途
500ml	ペットボトルのキャップ2杯 (約10ml)	500mlの量まで	嘔吐物、下痢便等の <u>明らかな汚染があるところ</u>
2L	ペットボトルのキャップ8杯 (約40ml)	2Lの量まで	

0.02% 次亜塩素酸Naを作る

500ml	ペットボトルのキャップ1/2杯 (約5ml)	500mlの量まで	ドアノブ・手すりなど <u>明らかな汚染がないところ</u>
2L	ペットボトルのキャップ2杯 (約10ml)	2Lの量まで	

消毒液の作り方(次亜塩素酸ナトリウム)

①次亜塩素酸ナトリウム原液をペットボトルのキャップで入れる。



②水道水を規定の位置まで入れる。

注意！薄めた次亜塩素酸ナトリウムは時間の経過により効果が減少します。

毎日作り変えてください。

500ml、2Lの位置に線を入れておくとよい



嘔吐物処理の手順（作業の準備）

【職員①】

- ・マスク、手袋（二重）、エプロン、シューズカバーを着用する
- ・ゴミ袋を用意する

【職員②】

- ・次亜塩素酸ナトリウムを薄め、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを作る
- ・その後はペーパータオルや消毒液の補充など、嘔吐物から距離を取り補助を行う。

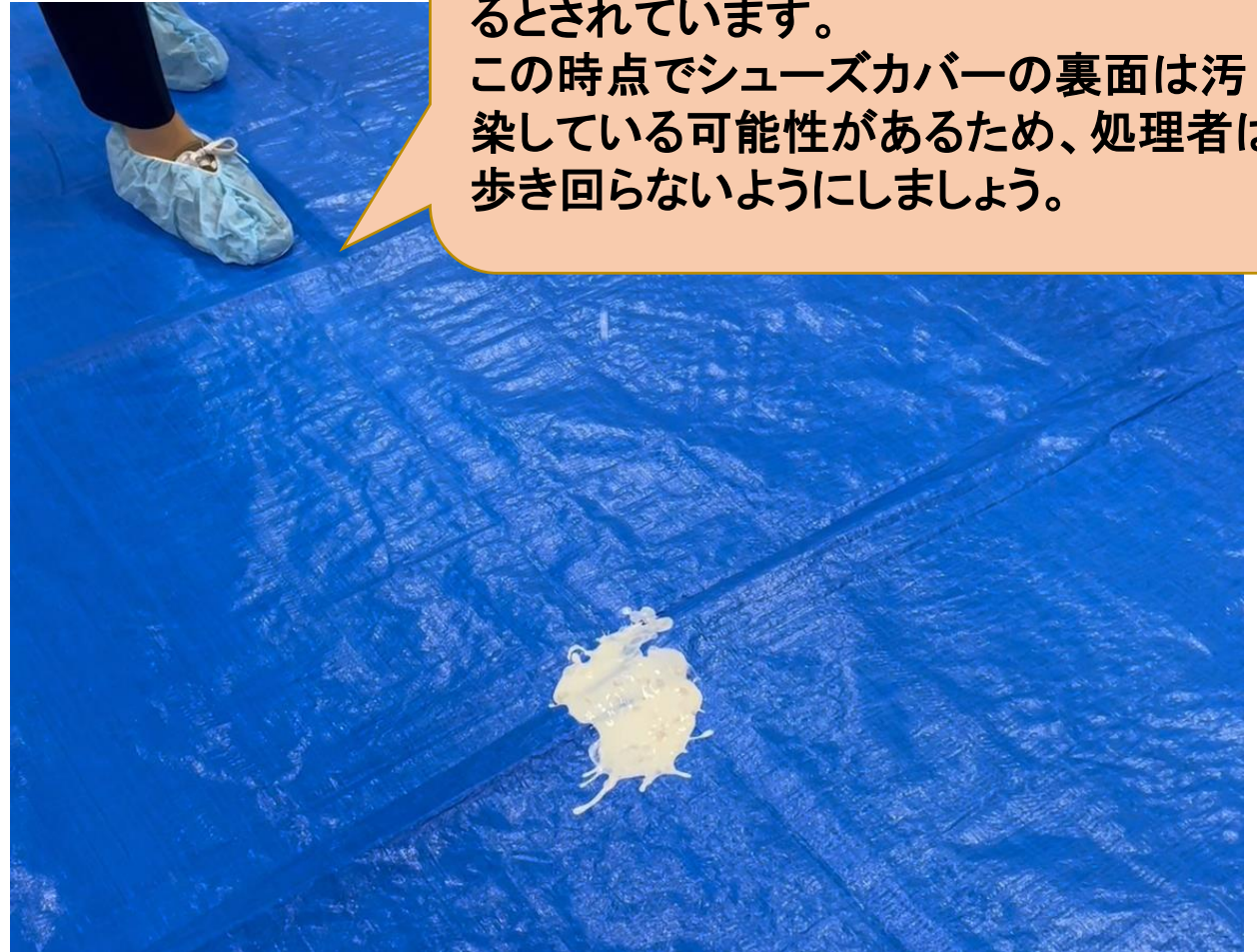
手袋はエプロンの袖を覆う

バケツはビニール袋を二重にかぶせてゴミ箱として使用する



嘔吐物処理の手順(嘔吐直後)

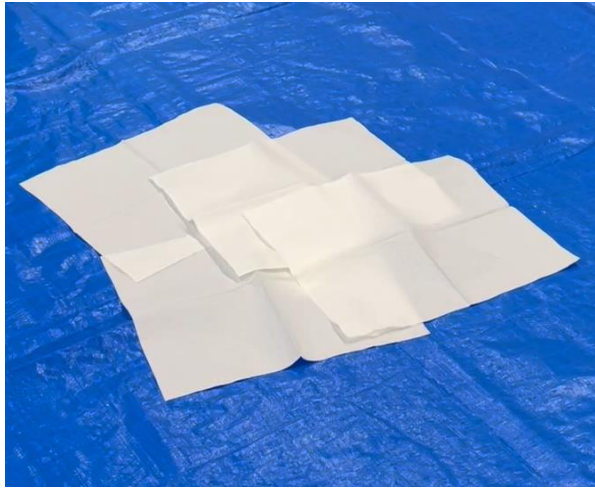
- ・嘔吐物は広範囲に広がっている
 - ・他の園児は別室に移動させる
 - ・窓を開けて換気をする
 - ・応援を呼ぶ
- ①嘔吐処理を行う人
 - ②嘔吐処理の補助をする人
 - ③嘔吐した園児に対応する人
 - ④他の園児を移動させる人



嘔吐した場合、半径2m程度まで飛び散るとされています。
この時点でシューズカバーの裏面は汚染している可能性があるため、処理者は歩き回らないようにしましょう。

嘔吐物を覆う

- ・嘔吐物にペーパータオル等を被せ、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを全体にかける。



【目的】

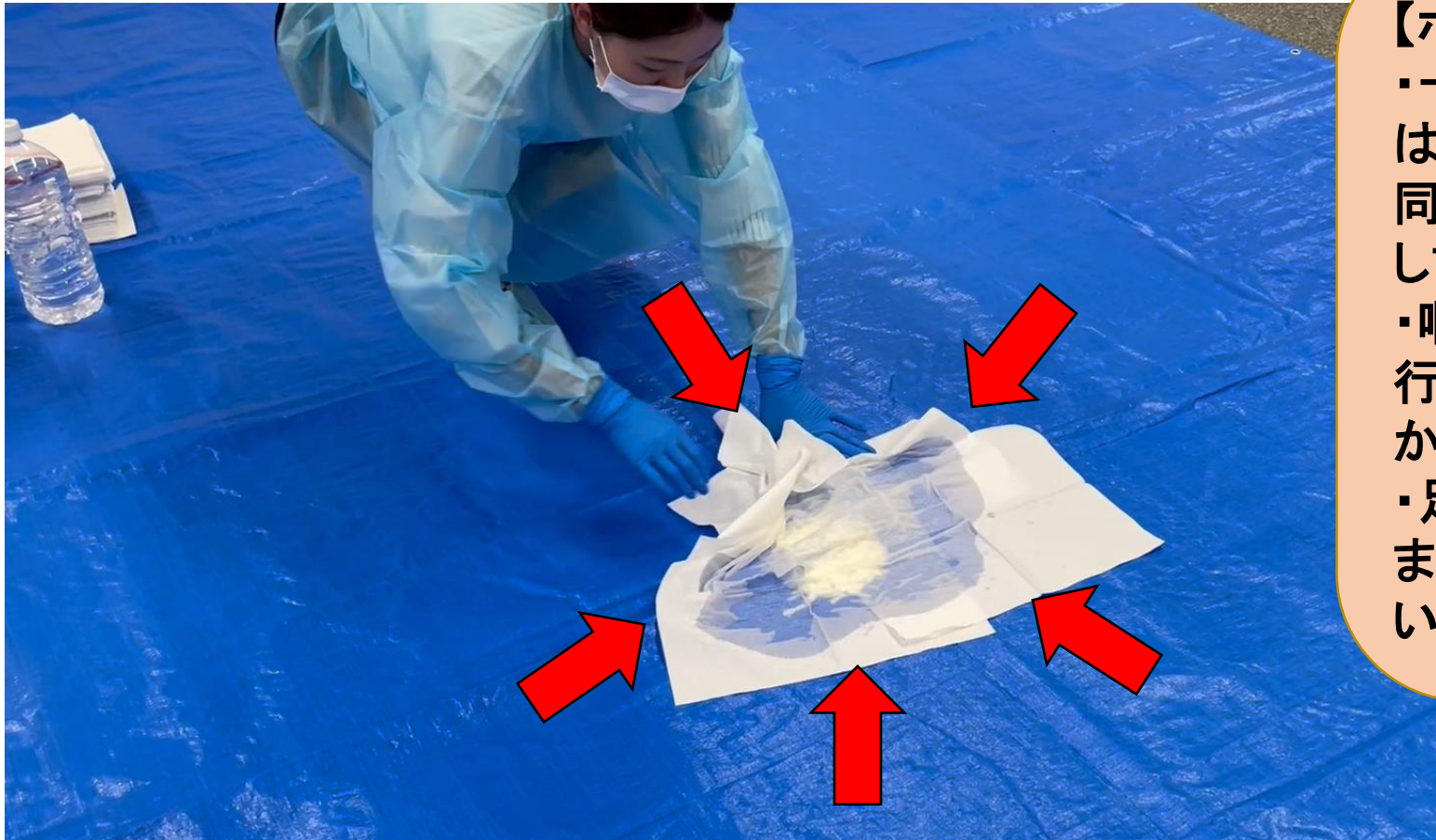
- ・ウイルスの舞い上がりを少しでも減らす
- ・嘔吐物を乾燥させない

【ポイント】

- ・消毒を目的とする作業ではないため、この後速やかに回収する。
- ・すぐに準備ができない場合、まず先にペーパータオルを被せるのも可。

嘔吐物を除去する

- ・ペーパータオルを外側から中心部に寄せながら嘔吐物を除去し、ゴミ袋に入れる。



【ポイント】

- ・一度で嘔吐物を取り切れない場合は、新たにペーパータオルを被せ、同様に中心部にまとめるように除去します。
- ・嘔吐物が残っていると、この後に行う消毒の効果が下がるため、しっかり除去します。
- ・足裏が汚染されていることがあります。処理者はむやみに歩き回らないでください。

注意！

- ・エプロンの裾が床面につかないように気をつけてください。

エプロンの裾が床についてしまうと、エプロンの裾が汚れ、衣服も汚れてしまいます。
裾が床につかないように、気をつけて作業しましょう。



1組目の手袋を脱ぐ

- ・1組目の手袋を外し、ゴミ袋に入れる。
- ・ゴミ袋に、0.1%次亜塩素酸ナトリウムを染みこませる。
- ・ゴミ袋の内側に触れないように、1枚目の袋を縛る



【ポイント】

- ・1組目の手袋は表面が汚染されています。脱ぎ方に注意！

ポイント：手袋の外し方（右利きの場合）

①右手で左手の袖口（外側）をつかむ。



表面をつまむ

②手袋を裏と表が逆になるように左手の手袋を脱ぐ。



③左手を右手の手袋の袖口（内側）に差し込む。



内側を引っかけるように

④手袋を裏と表が逆になるように右手の手袋を脱ぎ、手袋を廃棄。

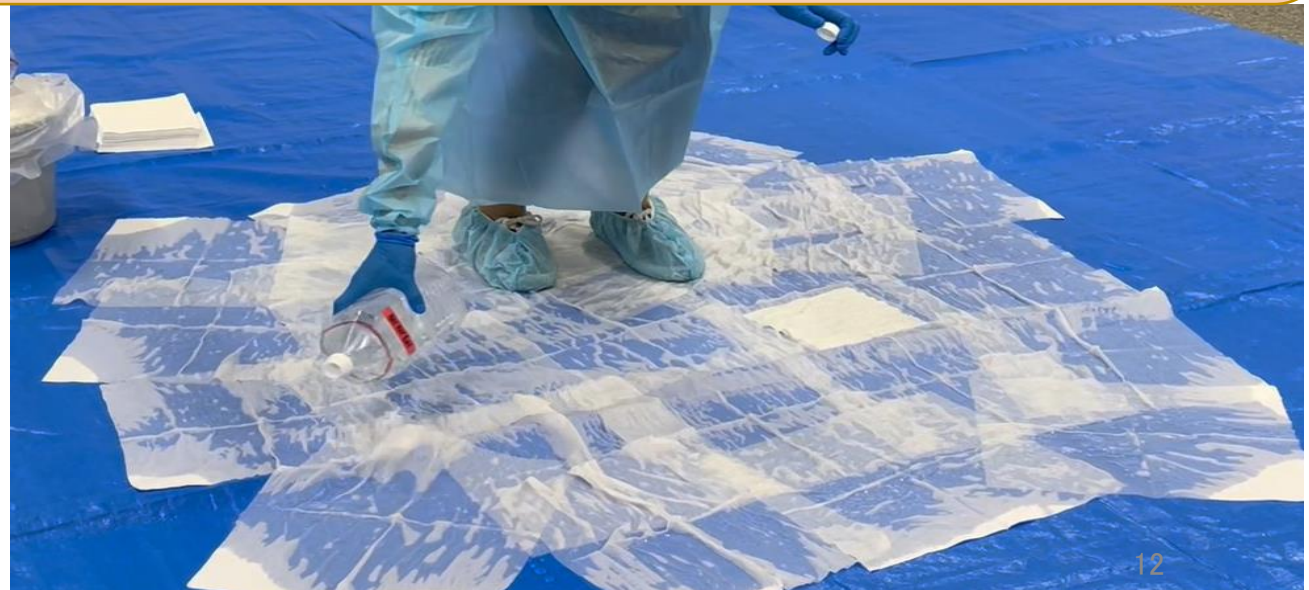
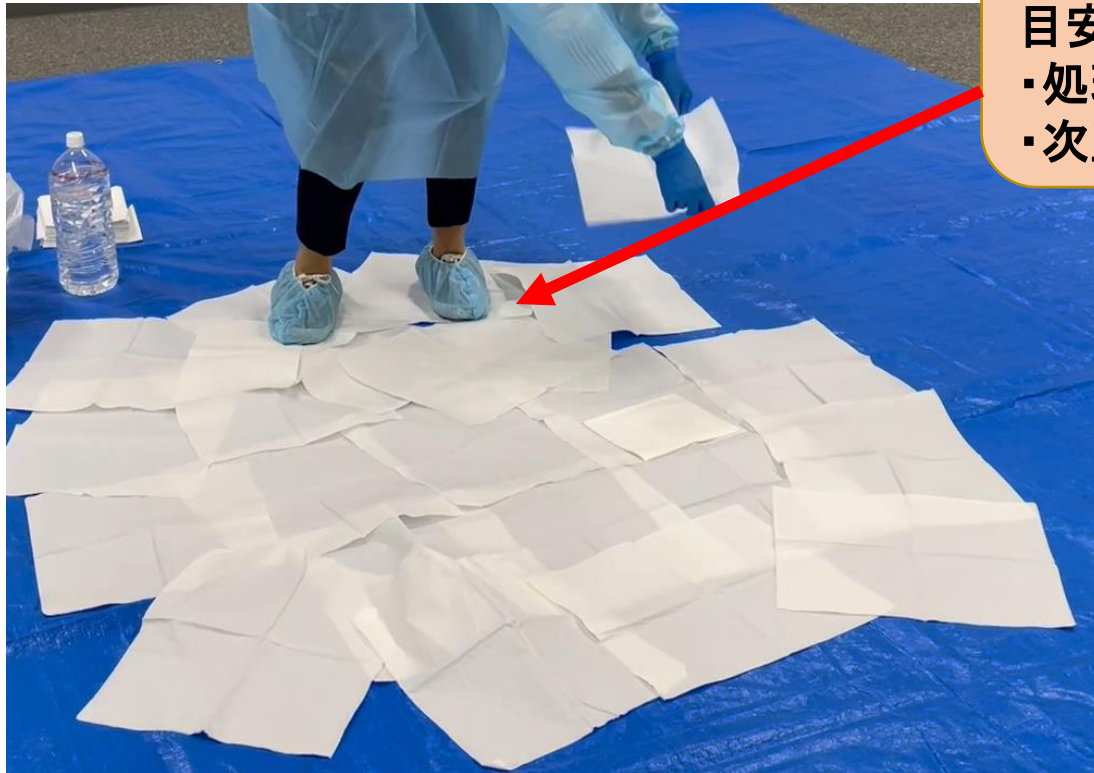


床面を消毒する

- ・嘔吐物を拭き取った床面にペーパータオルや新聞紙を拡げる。
- ・その上から、0.1%次亜塩素酸ナトリウムをかける。
- ・10分以上放置する。

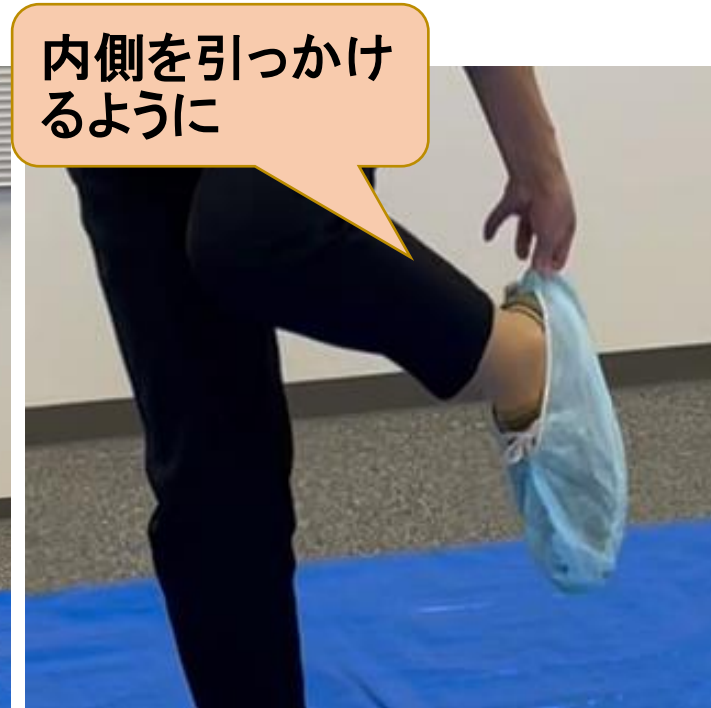
【ポイント】

- ・嘔吐物があった場所からさらに広い範囲を覆います。目安は嘔吐物を中心として半径2m程度。
- ・処理者の足下もペーパータオルで覆い消毒します。
- ・次亜塩素酸ナトリウムはたっぷりとかけてください。



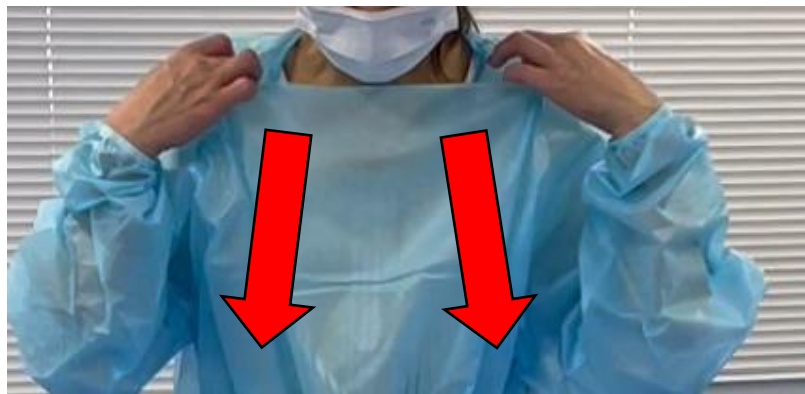
手袋、エプロン、シューズカバーを脱ぐ

- ・2枚目の手袋を1枚目と同じ手順で脱ぎ、二重にした外側のゴミ袋に入れる。
- ・エプロンは、表面（汚れた面）に触れないように首元を引っ張って外し、上から下に外側に丸めながら脱ぐ。
- ・シューズカバーを脱ぎ、ゴミ袋に入れる。ゴミ袋を縛り廃棄する。
- ・石けんで手を洗う。



ポイント:エプロンの脱ぎ方

①首元を引っ張りゆっくり引きちぎる。



②外側に巻き込むように下げていく。



③片手ずつ引き抜く。



手は極力エプロンの外側に触れないように

④さらに外側に丸めていく。



背中で縛ったひもは、エプロンを前方に引っ張りゆっくり引きちぎる

嘔吐物処理に使用した物品を消毒する

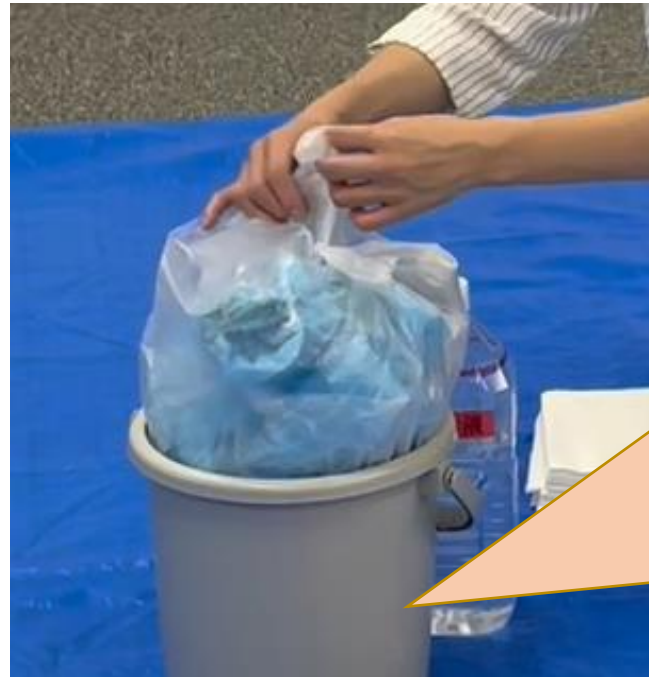
- ・嘔吐物の近くに置いて使用した物品は、汚染している可能性がある。
ビニール袋に入れて廃棄するか、再度使用する場合は表面を消毒するとよい。



ペットボトル:

側面、底に嘔吐物が付着している可能性があります。

次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパーで拭くか、予備に余裕があれば廃棄します。



バケツ:

側面、底、内側に嘔吐物が付着している可能性があります。

次亜塩素酸ナトリウムを染みこませたペーパーでバケツと周囲の床を拭くとよいです。

消毒後の後片付けをする

- ・新たにマスク、手袋(1組)とエプロンを着用し、バケツにゴミ袋をセットする。
- ・ペーパータオル等を集めてゴミ袋に捨てる。
- ・消毒した場所を水拭きする。
- ・エプロンと手袋を外し、廃棄する。



手洗いをを行い作業終了

- ・石けんでしっかり手を洗う。
- ・可能であれば、処理の際に着用していた衣服は着替える。
- ・嘔吐物処理をした方は感染しているリスクが高い。



処理後2日程度は発症する可能性があるため、自身の健康観察をしっかりと行い、**下痢や腹痛、嘔吐など胃腸症症状があれば早めに園に報告し、出勤を控えてください。**

